

平成24年度（平成23年度決算）事務事業評価シート

平成24年 7月 2日 作成

		担当課	企画グループ					
事務事業名		町民運動対策費		施策コード				
施策の体系	大項目	快適な生活環境の整備		法的	法令	条例	その他	
	中項目	安全な環境の整備		根拠等	青少年問題協議会条例			
	小項目	コミュニティ活動等		実施	直営	委託	その他	
	財務名称	町民運動対策費		方法				
事業概要	青少年問題協議会の開催、コミュニティ運動推進協議会及び松前地区防犯協会の2団体へ助成金を交付する。							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	青少年問題協議会（青少年は18歳未満の者、構成委員12人）、コミュニティ運動推進協議会（構成団体9団体、構成委員38人）、松前地区防犯協会（松前町及び福島町の町内会長で構成、下部組織として支部を設ける。）			青少年問題協議会の開催（年1回）、関係者が集まり、青少年の非行の現況や各学校の現状等を話し合いを行っている。コミュニティ運動推進協議会への活動助成（事業予算38万円の内、4万5千円を助成。）松前地区防犯協会への活動助成（事業予算5万9千円の内、6万8千円を助成。）				
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）							
			青少年の指導、教育、保護等の施策の連絡調整及び地域の連携を図り、主体的に行動するため、住民運動を推進すること等を目的とする。					
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	2	点		
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由	1点			
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）			
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点	（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。				
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点	コミュニティ運動推進協議会・松前地区防犯協会へ補助金を交付し、財政基盤を確立する。				
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等			計	1	点		
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）			
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点	（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。				
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点	町内の人口減少と高齢化が進んでおり、青少年の健全育成の問題など、地域住民の参加がますます重要となっています。コミュニティ運動やボランティア活動など、地域活動の充実強化を図るうえで必要です。				
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加事由	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性			計	3	点		
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点	（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。				
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点	地域が抱える様々な課題に対応するため、町民との「協働のまちづくり」を目指す町にとって重要な組織であり、関係機関、地域活動団体の連携が図られています。				
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定			計	2	点		
		区分	指標（算式）	単位	平成21年実績	平成22年実績	平成23年実績	平成23年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	花いっぱい運動実施団体数	件	5	7	7	7
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	防犯啓発実施回数	回	4	4	3	4
		(算式)						
	活動指標	指標	花いっぱい運動実施箇所数	件	5	7	7	7
		(算式)						
	成果指標	指標	防犯啓発訪問箇所数	件	36	36	35	36
		(算式)						
	活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点	（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。					
	意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点	花いっぱい運動を行うことで住みよい環境づくり（花や潤いのあるまちづくり）に繋がっている。防犯啓発を行うことで町内における犯罪防止等に寄与している。					
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移		計			点																																																																																																																																								
	区分	単位	平成21年決算額	平成22年決算額	平成23年決算額	平成23年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額																																																																																																																																					
	事業費	千円	170	170	170			低下している	1点																																																																																																																																					
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない	0点																																																																																																																																					
	地方債	千円				負担金・補助及	113	上昇している	-1点																																																																																																																																					
	その他	千円				報酬	21	説明 自立プラン以降、2団体へ同額で助成している。 (コミュニティ推進協議会45千円、松前地区防犯協会68千円)																																																																																																																																						
一般財源	千円	170	170	170																																																																																																																																										
	(2)手法の効率化		計			1		点																																																																																																																																						
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。					1点		(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。 自立プラン以降、2団体へ同額で助成している。(コミュニティ推進協議会45千円、松前地区防犯協会68千円)																																																																																																																																						
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。					1点																																																																																																																																								
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。					1点																																																																																																																																								
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低		必要性+有効性		高																																																																																																																																					
	A		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>点数</th> <th rowspan="2">6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要性</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>有効性</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>達成度</td> <td>2</td> <th rowspan="2">3</th> </tr> <tr> <td>4</td> <td>効果性</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>			項目	点数	6	1	必要性	3	2	有効性	3	3	達成度	2	3	4	効果性	1	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">低</th> <th colspan="6">必要性+有効性</th> <th colspan="2">高</th> </tr> <tr> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8~</th> <th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>低</td> </tr> </tbody> </table>		低		必要性+有効性						高		0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高										6							A			5										4										3										2										1								B		0										-1										-2									
	項目	点数	6																																																																																																																																											
1	必要性	3																																																																																																																																												
2	有効性	3																																																																																																																																												
3	達成度	2	3																																																																																																																																											
4	効果性	1																																																																																																																																												
低		必要性+有効性						高																																																																																																																																						
0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																																					
									6																																																																																																																																					
						A			5																																																																																																																																					
									4																																																																																																																																					
									3																																																																																																																																					
									2																																																																																																																																					
									1																																																																																																																																					
							B		0																																																																																																																																					
									-1																																																																																																																																					
									-2																																																																																																																																					
									低																																																																																																																																					
担当課評価	A		上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA~Dによります。																																																																																																																																											
一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																																													
	現状のまま事業を継続					事業を拡充して継続																																																																																																																																								
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																																													
	事業の簡素化、効率化による改善					執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																																								
	事業手法の見直しによる改善					住民参加等の推進による改善																																																																																																																																								
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善					その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																																								
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																																													
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討					対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																																								
	必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討					他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																																								
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討					その他																																																																																																																																								
D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																																														
廃止		統合			縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																																					
事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨					廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難	その他																																																																																																																																				
説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。					今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																																								
	コミュニティ運動推進協議会及び松前地区防犯協会の存在は、地域の連携を図り住みよい豊かな地域社会の形成や町内における犯罪の防止運動を進めるため重要な存在であり、現行レベルの助成をすることが必要と考えます。					関係機関・地域活動団体と、より一層連携を進めることが重要です。																																																																																																																																								
二次評価	庁内委員会評価		A		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																					
	説明		現状維持にて事業継続		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																															
三次評価	三次評価		A		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																					
	説明		現状維持にて事業継続		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																															

平成24年度（平成23年度決算）事務事業評価シート

平成24年 7月31日 作成

		担当課	総務グループ					
事務事業名		生活館等管理費		施策コード				
施策の体系	大項目	快適な生活環境の整備		法的	法令	条例	その他	
	中項目	安全な環境の整備		根拠等	生活館等管理条例			
	小項目	コミュニティ活動等		実施	直営	委託	その他	
	財務名称	生活館等管理費		方法	町内会			
事業概要	町内15生活会館の管理委託を町内会と契約し、生活館を適正に維持管理する。							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	町内15生活会館、生活館利用者			生活館の維持管理を地域の町内会と管理委託契約を締結（15会館）し、管理委託料（@18,600円×15会館=279,000円）を12月末日までに支払っている。町が建物の修繕を行い、町内会が小破修繕及び管理を行う。				
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）							
生活館を適正に維持管理し、住民の生活環境の改善と生活文化の向上に努める。								
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	2	点		
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由		1点		
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）		-	
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		生活館等管理条例により管理運営を行う。			
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等			計	1	点		
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）		-	
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		町民の生活環境の改善及び生活文化の向上を図るため必要な施設です。			
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加事由	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性			計	2	点		
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点		適正な維持管理と生活館利用による有効活用がされ、地域の交流の場として利用されている。			
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
		町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点					
3 達成度	(1)達成度の測定			計	2	点		
		区分	指標（算式）	単位	平成21年実績	平成22年実績	平成23年実績	平成23年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	管理している会館数	件	15	15	15	15
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	利用回数	回	350	407	364	400
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	利用者数	人	9,000	10,100	9,633	10,000
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	平均利用者数	人	600	673	642	670
		(算式)						
	活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。				
	意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点		生活館の適正な維持管理を行うことにより、住民の快適な生活環境が図られる。				
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移				計	点																																																																																																																													
	区分	単位	平成21年決算額	平成22年決算額	平成23年決算額	平成23年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)	単位コスト	一般財源額																																																																																																																											
	事業費	千円	279	279	279		低下している	1点																																																																																																																											
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない																																																																																																																											
	地方債	千円				委託料	279	上昇している																																																																																																																											
	その他	千円						管理は委託しており、必要最小限の予算措置である。																																																																																																																											
	一般財源	千円	279	279	279		説明																																																																																																																												
項目別点数による評価	(2)手法の効率化				計	2	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																											
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。					1	点	管理は町内会に委託しており、必要最小限の予算措置である。																																																																																																																											
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。					1	点																																																																																																																												
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。					1	点																																																																																																																												
一次評価(担当課評価)	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低 必要性+有効性 高																																																																																																																														
	A		<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>点数</th></tr> <tr><td>1 必要性</td><td>3</td></tr> <tr><td>2 有効性</td><td>2</td></tr> <tr><td>3 達成度</td><td>2</td></tr> <tr><td>4 効果性</td><td>2</td></tr> </table>		項目	点数	1 必要性	3	2 有効性	2	3 達成度	2	4 効果性	2	<table border="1"> <tr><th>0</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8~</th><th>高</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>A</td><td></td><td></td><td>6</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>5</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>4</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>B</td><td></td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-1</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-2</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>低</td></tr> </table>							0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高							A			6										5										4										3										2										1							B			0										-1										-2										低
	項目	点数																																																																																																																																	
	1 必要性	3																																																																																																																																	
	2 有効性	2																																																																																																																																	
	3 達成度	2																																																																																																																																	
	4 効果性	2																																																																																																																																	
	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																									
							A			6																																																																																																																									
										5																																																																																																																									
									4																																																																																																																										
									3																																																																																																																										
									2																																																																																																																										
									1																																																																																																																										
						B			0																																																																																																																										
									-1																																																																																																																										
									-2																																																																																																																										
									低																																																																																																																										
担当課評価		A																																																																																																																																	
上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA~Dによります。																																																																																																																																			
A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																																			
現状のまま事業を継続					事業を拡充して継続																																																																																																																														
B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																																			
事業の簡素化、効率化による改善					執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																														
事業手法の見直しによる改善					住民参加等の推進による改善																																																																																																																														
事業内容や契約方法等の見直しによる改善					その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																														
C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																																			
制度・事業内容の全面的な見直しを検討					対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																														
必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討					他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																														
計画期間の延伸、事業費平準化等を検討					その他																																																																																																																														
D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																																			
廃止			統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																										
事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨					廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難																																																																																																																										
説明		一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。 当面は現行の事業を継続すべきと考えるが、全施設の老朽化が進んでいることから近い将来建物を維持・統合・縮小・廃止するのか方向性を決定する必要がある。				今後の改善策等を具体的に記入します。 町内会を対象に施設のあり方について、アンケート(意向)調査を行います。																																																																																																																													
二次評価	庁内委員会評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																											
	A		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小																																																																																																																										
	説明		現状維持にて事業継続																																																																																																																																
三次評価	三次評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																											
	A		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小																																																																																																																										
	説明																																																																																																																																		

平成24年度（平成23年度決算）事務事業評価シート

平成24年 8月 1日 作成

		担当課	総務グループ					
事務事業名		災害対策費			施策コード			
施策の体系	大項目	快適な生活環境の整備			法的	法令	条例	その他
	中項目	安全な環境の整備			根拠等	福島町地域防災計画		
	小項目	防災			実施	直営	委託	その他
	財務名称	災害対策費			方法			
事業概要	自然災害に対応するため、防災行政無線を中心とした防災機器の整備、防災資材の確保、防災訓練等の充実を図りながら住民の安全な生活環境を整備する							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	地域の居住者及び滞在者等			防災行政無線（屋外拡声器等）による災害情報の伝達。防災資材の確保。				
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）			防災行政無線を活用し情報を速やかに地域住民に伝えることにより災害被害を軽減させるとともに、災害発生時に必要な物資を備蓄し災害時に備える。				
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）		計	1	点			
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点		追加事由	1点		
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）	-		
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		住民生命、財産を守るため防災基盤整備は町の施策として重要である			
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等		計	2	点			
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）	-		
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		災害の被害を最小限にするための防災対策は最優先である			
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加 地域住民の高齢化が進んでいることから、避難道路等の整備など事由 地域に対応した施策が必要	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性		計	2	点			
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点		災害発生時の情報伝達について、速やかに情報提供することができ、地域住民の避難等に対する貢献度は高い			
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定		計	1	点			
	区分	指標（算式）		単位	平成21年実績	平成22年実績	平成23年実績	平成23年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	屋外拡声器数	台	31	31	31	31
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	情報提供可能世帯数	世帯	2,386	2,346	2,319	2,351
		(算式)						
		指標						
		(算式)						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。			
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点		防災無線は災害時の連絡においては一定の成果を上げている。しかし、聞きづらい等の意見も出ていることから、個別受信機の配備等の伝達方法の検討をしていく必要がある。			
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移		計	1	点									
	区分	単位	平成21年決算額	平成22年決算額	平成23年決算額	平成23年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額					
	事業費	千円	4,780	12,710	2,175			低下している	1点					
	国・道費	千円		9,418		区分(節)	金額	変わらない	0点					
	地方債	千円				委託料	1,038	上昇している	-1点					
	その他	千円				需用費(修繕費)	946	説明 年度により事業内容に変更があるが、一般財源ベースでは減少している						
一般財源	千円	4,780	3,292	2,175										
	(2)手法の効率化		計	1	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。								
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。			1	点	通常の維持管理は、保守点検による部品の交換等により機器の大幅な改修する必要がなく、小規模修繕で維持されている								
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。			1	点									
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。			1	点									
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低 必要性+有効性 高									
	A		項目	点数	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高
↓			1	必要性	3						A			6
			2	有効性	2									5
			3	達成度	1									4
			4	効果性	2									3
														2
														1
														0
														-1
														-2
														低
一次評価(担当課評価)	担当課評価		上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA~Dによります。											
	A		A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)											
			現状のまま事業を継続				事業を拡充して継続							
	B		B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)											
			事業の簡素化、効率化による改善				執行体制の見直し(外部委託等)による改善							
			事業手法の見直しによる改善				住民参加等の推進による改善							
			事業内容や契約方法等の見直しによる改善				その他効果的・効率的手法の検討による改善							
	C		C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)											
			制度・事業内容の全面的な見直しを検討				対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討							
			必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討				他の事業、類似事業への統合・転換を検討							
		計画期間の延伸、事業費平準化等を検討				その他								
D		D 事業の抜本的見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)												
		廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換				
		事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨				廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難		その他		
説明		一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。 これまで、地震、大雨時の防災行政無線による災害情報の提供は、地域住民の生命を守るため方法として一定の成果を上げている。				今後の改善策等を具体的に記入します。 無線放送が屋内では聞き取りづらいとの指摘があり、今後は個別受信機等整備により一層の情報提供を向上させる。また、防災資材の備蓄においても充実させ災害に備える。								
二次評価	庁内委員会評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要						
	A		D 事業の抜本的見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換	
	説明		個別無線の整備など、事業の拡充を検討すること。											
三次評価	三次評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要						
	A		D 事業の抜本的見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換	
	説明		現状では、聞き取りづらい面もあるので、町ホームページに放送内容を掲載し内容を確認できるとか、エリアメールなどの手法も検討願いたい。											

平成24年度（平成23年度決算）事務事業評価シート

平成24年 8月20日 作成

		担当課	住民グループ						
事務事業名		社会福祉総務費			施策コード				
施策の体系	大項目	全ての源「健康福祉」の充実			法的	法令	条例	その他	
	中項目	社会福祉の充実			根拠等	支給要綱等			
	小項目	福祉推進体制			実施	直営	委託	その他	
	財務名称	社会福祉総務費			方法				
事業概要	社会福祉団体への運営補助、寝たきり老人等介護手当支給や高齢者・障害者に対する温泉優待券を配布することにより社会福祉の増進を図る								
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）					
	(1)社会福祉団体（負担金5団体、任意団体3団体、社会福祉協議会） (2)65歳以上の高齢者（1,923名）及び障害者（84名） (3)寝たきり老人等の介護者（34名）			(1)社会福祉団体への補助金交付...各種負担金（5団体）、任意団体助成金（3団体）、社会福祉協議会補助金 (2)高齢者及び障害者に対する温泉優待券（20回分）を福祉委員より配布 (3)寝たきり老人等の介護者への手当支給（月額3,000円）					
必要	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）								
	(1)社会福祉団体の活動支援 (2)高齢者及び障害者への福祉の増進 (3)寝たきり老人等の介護者に対し、介護の労をねぎらう								
1	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）		計	3	点				
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点		追加事由	1点			
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）				
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点	(説明)関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。					
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点	(1)社会福祉団体の活動支援を図るため町が行うべきものとする。社会福祉協議会補助金に対し、福祉活動専門員設置事業費として交付税措置。					
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点	(2)高齢者や障害者の健康増進を図るため町が行うべきものとする。 (3)寝たきり老人等の介護者の労をねぎらうため支給要綱に基づき町が行うべきものとする。					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等		計	1	点				
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）				
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点	(説明)妥当性に関し、内容を具体的に記入します。					
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点	(1)社会福祉団体の活動支援のため補助金の継続は必要 (2)高齢者及び障害者の健康増進のため温泉優待券の継続は必要 (3)寝たきり老人等の介護者の労をねぎらうため介護手当支給の継続は必要					
2	(1)成果・協働に対する事業の有効性		計	2	点				
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点	(説明)有効性に関し、内容を具体的に記入します。					
		事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。	1点	1)社会福祉団体への活動支援により安定した運営が図られている 2)高齢者及び障害者の健康増進のほか温泉利用客増にも寄与している					
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点	(3)在宅での寝たきり老人等の福祉の増進及び介護者へ介護の労をねぎらうため事業の有効性は高い					
3	(1)達成度の測定		計	1	点				
	区分	指標（算式）		単位	平成21年実績	平成22年実績	平成23年実績	平成23年当初計画	
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	優待券配布者数		人	1,934	1,908	1,901	2,007
		(算式)							
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	寝たきり老人等介護手当対象者数		人	32	36	34	35
		(算式)							
		指標	優待券利用率		%	49	47	47	50
		(算式)							
		指標	介護手当給付数		人	32	36	34	35
		(算式)							
	活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。		1点	(説明)成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。					
	意図した成果が得られている。(達成度概ね80%以上)		1点	町民の福祉増進に寄与している					
	あまり成果が出ていない。(概ね60%未満)		-1点						

		(1)事業費の推移			計	点																																																																																																																											
区 分	単 位	平成21年決算額	平成22年決算額	平成23年決算額	平成23年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単 位 コ ス ト	一 般 財 源 額																																																																																																																									
4 効果性 (財源内訳)	事業費	千円	2,978	2,637	2,769			低下している	1点																																																																																																																								
	国・道費	千円		39	50	区分(節)	金額	変わらない		0点																																																																																																																							
	地方債	千円				社会福祉団体費	1,530,000	上昇している		-1点																																																																																																																							
	その他	千円				寝たきり老人介	1,071,000	説明 概ね横ばいで推移している																																																																																																																									
	一般財源	千円	2,978	2,598	2,719																																																																																																																												
(2)手法の効率化		計			2	点																																																																																																																											
現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。					1点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																											
執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。					1点	(1)社会福祉協議会については町長との懇談会や予算査定時に事務局人件費として100千円/月、遺族会分40千円/年として整理されており、そのほかの助成金に関しては自立プランに基づいて交付している。																																																																																																																											
外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。					1点	(2)対象者への配布は福祉委員が行い、費用は印刷代のみである。温泉優待者送迎バス運行とあわせて高齢者や障害者の健康増進を図るとともに、温泉利用客増に																																																																																																																											
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低 必要性+有効性 高																																																																																																																												
	A		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 必要性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>2 有効性</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>3 達成度</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>4 効果性</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>		項目	点数	1 必要性	4	2 有効性	2	3 達成度	1	4 効果性	2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>0</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8~</th><th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>6</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>A</td><td></td><td></td><td>5</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>4</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>B</td><td></td><td>0</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-1</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-2</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>低</td> </tr> </tbody> </table>						0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高										6							A			5										4										3										2										1								B		0										-1										-2									
項目	点数																																																																																																																																
1 必要性	4																																																																																																																																
2 有効性	2																																																																																																																																
3 達成度	1																																																																																																																																
4 効果性	2																																																																																																																																
0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																								
									6																																																																																																																								
						A			5																																																																																																																								
									4																																																																																																																								
									3																																																																																																																								
									2																																																																																																																								
									1																																																																																																																								
							B		0																																																																																																																								
									-1																																																																																																																								
									-2																																																																																																																								
									低																																																																																																																								
担当課評価	A																																																																																																																																
上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA～Dによります。																																																																																																																																	
一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																																
	現状のまま事業を継続					事業を拡充して継続																																																																																																																											
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																																
	事業の簡素化、効率化による改善					執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																											
	事業手法の見直しによる改善					住民参加等の推進による改善																																																																																																																											
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善					その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																											
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																																
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討					対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																											
	必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討					他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																											
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討					その他																																																																																																																											
説明	D 事業の抜本的見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																																
	廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																								
	事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨					廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難																																																																																																																							
一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。 寝たきり老人等介護手当は、介護者の労をねぎらうためにも継続していくべきである。 温泉優待券は健康増進のため必要である。					今後の改善策等を具体的に記入します。 温泉優待券の利用率の向上のため回数回の検討(現在20回)																																																																																																																												
二次評価	A 現状にて事業を継続または拡充																																																																																																																																
	B 事業の進め方の改善・検討が必要																																																																																																																																
三次評価	C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																
	D 事業の抜本的見直しの検討 ⇨																																																																																																																																
廃止					統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																						
説明 現状維持にて事業継続																																																																																																																																	
説明 A 現状にて事業を継続または拡充																																																																																																																																	
B 事業の進め方の改善・検討が必要																																																																																																																																	
C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																	
D 事業の抜本的見直しの検討 ⇨																																																																																																																																	
廃止					統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																						

平成24年度（平成23年度決算）事務事業評価シート

平成24年 8月 8日 作成

		担当課	住民グループ					
事務事業名	戦没者追悼式事業費		施策コード					
施策の体系	大項目	全ての源「健康福祉」の充実	法的根拠等	法令	条例	その他		
	中項目	社会福祉の充実	実施方法	戦没者追悼式実施要綱				
	小項目	福祉推進体制		直営	委託	その他		
	財務名称	戦没者追悼式事業費						
事業概要	戦没者を追悼する式典							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）		(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）					
	戦没者（297名）及び戦没者遺族（151名）		追悼式典（宗教的儀式を伴わないものとし、菊花の献花方式）を福祉センターにて年1回開催（64名出席）					
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）		福島町に関係する戦没者に対し、町民こぞって追悼の誠を捧げ、平和への誓いを新たにす					
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）		計	1	点			
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由	戦没者を追悼するため、町が行うべき事業		1点	
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）		-	
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		町民こぞって追悼の誠を捧げ、平和への誓いを新たにすために町が行うべきと考える			
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等		計	1	点			
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）		-	
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		町民こぞって追悼の誠を捧げ、平和への誓いを新たにすために引き続き町が行うべきと考える			
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加：遺族会の解散、遺族の高齢化により参加者数は減少しているもの事由の、追悼式の継続開催の要望は強い	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性		計	2	点			
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点		町民こぞって追悼の誠を捧げ、平和への誓いを新たにす機会となる			
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定		計	1	点			
		区分	指標（算式）	単位	平成21年実績	平成22年実績	平成23年実績	平成23年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	戦没者追悼式	回	1	1	1	1
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	戦没者追悼式出席者数	人	73	63	64	64
		(算式)						
		指標						
		(算式)						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。			
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点		遺族の高齢化により参加者は減少傾向にあるが、戦没者に対する追悼、平和への誓いを新たにす機会となる			
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移		計			点																																																																																																																										
	区 分	単位	平成21年決算額	平成22年決算額	平成23年決算額	平成23年事業費の内訳及び金額 (金額の上2費用他)		単位コスト	一般財源額																																																																																																																							
	事業費	千円	260	254	257			低下している	1点																																																																																																																							
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない	0点																																																																																																																							
	地方債	千円				戦没者追悼式祭	225,000	上昇している	-1点																																																																																																																							
	その他	千円				戦没者追悼式贈	29,000	説明 横ばいで推移している																																																																																																																								
一般財源	千円	260	254	257																																																																																																																												
項目別点数による評価	(2)手法の効率化		計			1		点																																																																																																																								
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。							1点																																																																																																																								
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。							1点																																																																																																																								
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。							1点																																																																																																																								
一次評価(担当課評価)	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低		必要性+有効性		高																																																																																																																							
	B		<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>点数</th></tr> <tr><td>1 必要性</td><td>2</td></tr> <tr><td>2 有効性</td><td>2</td></tr> <tr><td>3 達成度</td><td>1</td></tr> <tr><td>4 効果性</td><td>1</td></tr> </table>		項目	点数	1 必要性	2	2 有効性	2	3 達成度	1	4 効果性	1	<table border="1"> <tr><th>0</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8~</th><th>高</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>6</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>5</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>4</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-1</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-2</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>低</td></tr> </table>		0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高										6										5										4										3										2										1										0										-1										-2										低	達成度+効果性	
	項目	点数																																																																																																																														
	1 必要性	2																																																																																																																														
	2 有効性	2																																																																																																																														
	3 達成度	1																																																																																																																														
	4 効果性	1																																																																																																																														
	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																						
										6																																																																																																																						
										5																																																																																																																						
									4																																																																																																																							
									3																																																																																																																							
									2																																																																																																																							
									1																																																																																																																							
									0																																																																																																																							
									-1																																																																																																																							
									-2																																																																																																																							
									低																																																																																																																							
担当課評価		A		上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。		評価は、次のA~Dによります。																																																																																																																										
A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)		現状のまま事業を継続		事業を拡充して継続																																																																																																																												
B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)		事業の簡素化、効率化による改善		執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																												
		事業手法の見直しによる改善		住民参加等の推進による改善																																																																																																																												
		事業内容や契約方法等の見直しによる改善		その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																												
C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)		制度・事業内容の全面的な見直しを検討		対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																												
		必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討		他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																												
		計画期間の延伸、事業費平準化等を検討		その他																																																																																																																												
D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)		廃止		統合		縮小		凍結																																																																																																																								
		新たな事業への転換																																																																																																																														
事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨		廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難		その他																																																																																																																								
説明		一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。		戦没者に対し町民こぞって追悼の誠を捧げるとともに、平和への誓いを新たにするために今後も継続すべきと考える		特になし		今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																								
二次評価	庁内委員会評価		B		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																							
					D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合																																																																																																																							
					縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																							
説明				事業手法の見直し改善などの検討が必要。																																																																																																																												
三次評価	三次評価		A		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																							
					D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合																																																																																																																							
					縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																							
説明				戦没者を追悼することにより戦争を風化させることなく、後世へ戦争の悲惨さを伝えることができるとともに、平和を祈念する機会として今後も事業の継続は必要である。		事業内容については、参列者が減少傾向にあることなどから、子ども達が戦争の悲惨さを学べ、町民全てが恒久的平和を祈念する機会となるよう見直しも必要。																																																																																																																										

平成24年度（平成23年度決算）事務事業評価シート

平成24年 8月20日 作成

		担当課	保健福祉グループ					
事務事業名		安心生活創造事業費			施策コード			
施策の体系	大項目	全ての源「健康福祉」の充実			法的	法令	条例	その他
	中項目	社会福祉の充実			根拠等	厚労省モデル事業		
	小項目	高齢者福祉			実施	直営	委託	その他
	財務名称	安心生活創造事業費			方法	社協		
事業概要	厚生労働省のモデル事業として、一人暮らし世帯等への「基礎支援」「見守り」等を行うことにより、住み慣れた地域で安心、継続して生活できる地域づくりを行う。							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	満70歳以上の独居1, 461人及び老老世帯416世帯。			満70歳以上の対象者を、社会福祉協議会で福祉介護調査と健康調査を実施し、対象者の8割以上の戸別訪問台帳を作成することができた。				
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）							
全戸調査して把握した要援護者の個人情報、行政、社会福祉協議会、地域包括支援センター、消防署で共有し、孤独死等を未然に防ぐ。								
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）		計	1	点			
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由	1点			
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）			
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		高齢者等への救急体制等のため、自治体の最低限の施策のひとつである。			
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等		計	2	点			
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）			
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		高齢化社会に対応する必要があるため。			
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加事由	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性		計	3	点			
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点		個別台帳の作成等により、緊急時の対応が図られる。			
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定		計	2	点			
	区分	指標（算式）		単位	平成21年実績	平成22年実績	平成23年実績	平成23年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	見守り対象者	人	680	988	1,012	1,028
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	見守り台帳登録者	人	423	694	965	767
		(算式)						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。			
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点		平成21年度より事業を実施し、平成23年度には全町対象者の約8割を把握することができた。			
		あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点					

4 効果性	(1)事業費の推移		計			1		点																																																																																																																							
	区分	単位	平成21年決算額	平成22年決算額	平成23年決算額	平成23年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額																																																																																																																						
	事業費	千円	10,000	10,839	10,318			低下している	1点																																																																																																																						
	国・道費	千円	10,000	10,442	10,000	区分(節)	金額	変わらない	0点																																																																																																																						
	地方債	千円				使用料及び賃借	4,081	上昇している	-1点																																																																																																																						
	その他	千円		238	227	委託料	3,100	説明 全額国庫補助である。																																																																																																																							
	一般財源	千円		159	91																																																																																																																										
	(2)手法の効率化		計			1		点																																																																																																																							
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。				1点		(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																								
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。				1点		町と社会福祉協議会と実施している訪問調査を整理し、事業の効率化を図る。																																																																																																																								
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。				1点																																																																																																																										
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低		必要性+有効性		高																																																																																																																						
	A		<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>点数</th></tr> <tr><td>1 必要性</td><td>3</td></tr> <tr><td>2 有効性</td><td>3</td></tr> <tr><td>3 達成度</td><td>2</td></tr> <tr><td>4 効果性</td><td>2</td></tr> </table>		項目	点数	1 必要性	3	2 有効性	3	3 達成度	2	4 効果性	2	<table border="1"> <tr><th>0</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8~</th><th>高</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>A</td><td></td><td></td><td>6</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>5</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>4</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>B</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-1</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-2</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>低</td></tr> </table>		0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高							A			6										5										4										3										2										1								B		0										-1										-2										低	達成度+効果性
項目	点数																																																																																																																														
1 必要性	3																																																																																																																														
2 有効性	3																																																																																																																														
3 達成度	2																																																																																																																														
4 効果性	2																																																																																																																														
0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																						
						A			6																																																																																																																						
									5																																																																																																																						
									4																																																																																																																						
									3																																																																																																																						
									2																																																																																																																						
									1																																																																																																																						
							B		0																																																																																																																						
									-1																																																																																																																						
									-2																																																																																																																						
									低																																																																																																																						
担当課評価	A		上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA~Dによります。																																																																																																																												
一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																														
	現状のまま事業を継続					事業を拡充して継続																																																																																																																									
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																														
	事業の簡素化、効率化による改善					執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																									
	事業手法の見直しによる改善					住民参加等の推進による改善																																																																																																																									
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善					その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																									
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																														
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討					対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																									
	必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討					他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																									
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討					その他																																																																																																																									
D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																															
廃止		統合			縮小			凍結		新たな事業への転換																																																																																																																					
事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨					廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難	その他																																																																																																																					
説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。					今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																									
	一人暮らしの世帯等、家族のサポートが期待できない人に対し、地域で見守ることにより安心して暮らせる社会を実現するため必要事業である。																																																																																																																														
二次評価	庁内委員会評価		A		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																						
					D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合																																																																																																																						
	説明		現状維持にて事業継続																																																																																																																												
三次評価	三次評価		A		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																						
					D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合																																																																																																																						
	説明																																																																																																																														

平成24年度（平成23年度決算）事務事業評価シート

平成24年 8月20日 作成

		担当課	保健福祉グループ						
事務事業名		介護予防・生活支援事業費			施策コード				
施策の体系	大項目	全ての源「健康福祉」の充実			法的	法令	条例	その他	
	中項目	社会福祉の充実			根拠等	実施要綱			
	小項目	高齢者福祉			実施	直営	委託	その他	
	財務名称	介護予防・生活支援事業費			方法	幸愛会			
事業概要	高齢者が自立して生活を営めるように生きがいサービス事業やショートステイの利用。								
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）					
	65歳以上の高齢者で事業等利用希望者。			申請より、施設利用。委託事業者等との事業推進の協議。					
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）								
			高齢者が寝たきり等の要介護状態に陥ったり、状態が悪化することを予防し、自立した生活が営めるよう介護予防及び生活支援を行う。						
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	3	点			
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由		1点			
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）		-		
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。				
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		高齢者の生活改善事業として、自治体の最低限の施策の一つである。				
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点						
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等			計	1	点			
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）		-		
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。				
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		生活環境の変化や、精神的ストレス解消として重要な事業である。				
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点							
	追加事由	1点							
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性			計	2	点			
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。				
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点		日常生活の変化に対応した事業として有効性が高い。				
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点						
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点							
3 達成度	(1)達成度の測定			計	1	点			
		区分	指標（算式）	単位	平成21年実績	平成22年実績	平成23年実績	平成23年当初計画	
	活動指標	具体的な活動の内容	指標	生きがいサービス利用見込者	人	3,500	3,500	3,500	3,500
			(算式)						
	成果指標	どれだけの成果が現れたか	指標	生きがいサービス利用実績	人	3,409	3,294	3,266	
			(算式)						
			指標						
			(算式)						
				活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点	（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。			
				意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点	施設入所者や在宅介護者が増え、利用人数が増加していないので、委託施設等と協議する必要があるが、希望者は全て利用できている状況である。			
			あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点					

4 効果性	(1)事業費の推移		計		1		点																																																																																																																																	
	区 分	単位	平成21年決算額	平成22年決算額	平成23年決算額	平成23年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額																																																																																																																															
	事業費	千円	4,449	3,412	2,492			低下している	1点																																																																																																																															
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない	0点																																																																																																																															
	地方債	千円				委託料	2,491	上昇している	-1点																																																																																																																															
	その他	千円	978	736	536			説明	利用人数の減少により低下している。																																																																																																																															
一般財源	千円	3,471	2,676	1,956																																																																																																																																				
項目別点数による評価	(2)手法の効率化		計		1		点																																																																																																																																	
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。				1点		(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																																	
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。				1点		利用者増を図るための方策が必要である。																																																																																																																																	
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。				1点																																																																																																																																			
一次評価(担当課評価)	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低		必要性+有効性		高																																																																																																																															
	A		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>点数</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要性</td> <td>4</td> <td rowspan="2">6</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>有効性</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>達成度</td> <td>1</td> <td rowspan="2">3</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>効果性</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>			項目	点数		1	必要性	4	6	2	有効性	2	3	達成度	1	3	4	効果性	2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>低</th> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8~</th> <th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>-2</td> </tr> </tbody> </table>		低	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高								A			6											5											4											3											2											1								B			0											-1											-2	達成度+効果性	
		項目	点数																																																																																																																																					
	1	必要性	4	6																																																																																																																																				
	2	有効性	2																																																																																																																																					
	3	達成度	1	3																																																																																																																																				
	4	効果性	2																																																																																																																																					
	低	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																													
								A			6																																																																																																																													
											5																																																																																																																													
										4																																																																																																																														
										3																																																																																																																														
										2																																																																																																																														
										1																																																																																																																														
							B			0																																																																																																																														
										-1																																																																																																																														
										-2																																																																																																																														
担当課評価		A		上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。		評価は、次のA~Dによります。																																																																																																																																		
A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)		現状のまま事業を継続		事業を拡充して継続																																																																																																																																				
B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)		事業の簡素化、効率化による改善		執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																																				
		事業手法の見直しによる改善		住民参加等の推進による改善																																																																																																																																				
		事業内容や契約方法等の見直しによる改善		その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																																				
C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)		制度・事業内容の全面的な見直しを検討		対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																																				
		必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討		他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																																				
		計画期間の延伸、事業費平準化等を検討		その他																																																																																																																																				
D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)		廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																														
		事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨		廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難		その他																																																																																																																														
説明		一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。		今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																																				
		利用希望者は、利用できている状況にあり、介護予防等に必要事業なため、今後も継続が必要である。																																																																																																																																						
二次評価	庁内委員会評価		A		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																															
					D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小																																																																																																																													
					凍結		新たな事業への転換																																																																																																																																	
		説明		現状維持にて事業継続																																																																																																																																				
三次評価	三次評価		A		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																															
					D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小																																																																																																																													
					凍結		新たな事業への転換																																																																																																																																	
		説明																																																																																																																																						

平成24年度（平成23年度決算）事務事業評価シート

平成24年 8月 9日 作成

		担当課	保健福祉グループ						
事務事業名		予防費			施策コード				
施策の体系	大項目	全ての源「健康福祉」の充実			法的	法令	条例	その他	
	中項目	健康づくりの推進			根拠等	健康増進法			
	小項目	保健予防			実施	直営	委託	その他	
	財務名称	予防費			方法				
事業概要	予防医療として、乳幼児から高齢者までを対象に予防接種等の実施。（インフルエンザワクチン接種事業、特定検診事業）								
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）					
	乳幼児から高齢者まで。			広報やチラシ等による啓発を実施し、ワクチン接種や特定検診の受診の推奨を図っている。					
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）								
			(1) 予防接種の推奨により風邪等の未然防止対策。 (2) 特定検診の推奨により病気の早期発見、治療。						
1 必要性	(1) 町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	3	点			
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由		1点			
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）		-		
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。				
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		町民の各種病気等の予防のための自治体として最低限の施策の一つである。				
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点						
	(2) 社会情勢や町民ニーズの変化等			計	2	点			
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）		-		
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。				
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		早期の病気の予防のため、町民への意識啓発が重要。				
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点							
	追加事由	1点							
2 有効性	(1) 成果・協働に対する事業の有効性			計	2	点			
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。				
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点		予防医療としての効果が大きく、医療費の抑制にも繋がる。				
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点						
		町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1) 達成度の測定			計	1	点			
		区分	指標（算式）	単位	平成21年実績	平成22年実績	平成23年実績	平成23年当初計画	
	活動指標	具体的な活動の内容	指標	特定検診受診対象者	人	1,384	1,329	1,321	1,461
			(算式)						
	成果指標	どれだけの成果が現れたか	指標	インフルエンザワクチン接種対象者	人	2,776	2,917	1,861	
			(算式)						
			指標	特定検診受診者	人	489	385	399	592
			(算式)						
			指標	インフルエンザワクチン接種者	人	375	2,446	1,304	
			(算式)						
	活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。					
	意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点		町民に対して、事業内容の趣旨が浸透し効果をあげてきている。					
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点							

4 効果性	(1)事業費の推移		計			1	点																																																																																																																									
	区 分	単位	平成21年決算額	平成22年決算額	平成23年決算額	平成23年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額																																																																																																																							
	事業費	千円	7,932	10,423	8,360			低下している	1点																																																																																																																							
	国・道費	千円	628	651	605	区分(節)	金額	変わらない	0点																																																																																																																							
	地方債	千円				委託料	6,559	上昇している	-1点																																																																																																																							
	その他	千円	1,143	1,055	1,036			説明	事業利用者が年々増加傾向にあることにより、コスト削減が図られた。																																																																																																																							
一般財源	千円	6,161	8,717	6,719																																																																																																																												
項目別点数による評価	(2)手法の効率化		計			1	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																								
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。				1点	町民の意識改革のため、健康づくり推進員が地区ごとに検診受診率の向上促進を図っている。																																																																																																																										
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。				1点																																																																																																																											
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。				1点																																																																																																																											
一次評価(担当課評価)	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低		必要性+有効性		高																																																																																																																							
	A		<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>点数</th></tr> <tr><td>1 必要性</td><td>5</td></tr> <tr><td>2 有効性</td><td>2</td></tr> <tr><td>3 達成度</td><td>1</td></tr> <tr><td>4 効果性</td><td>2</td></tr> </table>		項目	点数	1 必要性	5	2 有効性	2	3 達成度	1	4 効果性	2	<table border="1"> <tr><th>0</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8~</th><th>高</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>A</td><td></td><td></td><td>6</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>5</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>4</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>B</td><td></td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-1</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-2</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>低</td></tr> </table>		0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高							A			6										5										4										3										2										1							B			0										-1										-2										低	達成度+効果性	
	項目	点数																																																																																																																														
	1 必要性	5																																																																																																																														
	2 有効性	2																																																																																																																														
	3 達成度	1																																																																																																																														
	4 効果性	2																																																																																																																														
	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																						
							A			6																																																																																																																						
										5																																																																																																																						
									4																																																																																																																							
									3																																																																																																																							
									2																																																																																																																							
									1																																																																																																																							
						B			0																																																																																																																							
									-1																																																																																																																							
									-2																																																																																																																							
									低																																																																																																																							
担当課評価		上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA~Dによります。																																																																																																																														
A		A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																														
		現状のまま事業を継続				事業を拡充して継続																																																																																																																										
		B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																														
		事業の簡素化、効率化による改善				執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																										
		事業手法の見直しによる改善				住民参加等の推進による改善																																																																																																																										
		事業内容や契約方法等の見直しによる改善				その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																										
		C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																														
		制度・事業内容の全面的な見直しを検討				対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																										
		必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討				他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																										
		計画期間の延伸、事業費平準化等を検討				その他																																																																																																																										
		D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																														
		廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																						
		事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨				廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難	その他																																																																																																																					
説明		一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。 ワクチン接種や特定健診の受診により、病気の予防や早期発見・早期治療につながり、町民の健康保持を可能となるため、継続して事業を行う必要がある。				今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																										
二次評価	庁内委員会評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																								
	A		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																							
	説明		現状維持にて事業継続																																																																																																																													
三次評価	三次評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																								
	A		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																							
	説明																																																																																																																															

平成24年度（平成23年度決算）事務事業評価シート

平成24年 8月20日 作成

		担当課	保健福祉グループ						
事務事業名		子宮頸がんワクチン接種事業費			施策コード				
施策の体系	大項目	全ての源「健康福祉」の充実			法的	法令	条例	その他	
	中項目	健康づくりの推進			根拠等	予防接種法			
	小項目	保健予防			実施	直営	委託	その他	
	財務名称	子宮頸がん等ワクチン接種事業費			方法	医療機関			
事業概要	子宮がん予防のための子宮頸がんワクチンを中学1年生から接種。小児用肺炎球菌ワクチン及びヒブワクチンを2ヶ月の乳児から接種。								
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）					
	町内在住の中学生女子及び高校1年生女子のうち希望する者。2ヶ月から4歳までの乳幼児。			中学生は、学校を通して個別通知。高校生は、郵送による個別通知。保護者に通知。					
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）			子宮頸がんの予防。 細菌性髄膜炎の予防。					
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	2	点			
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由	子宮頸がん等予防のため、自治体の最低限の施策のひとつである			1点	
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）			-	
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。				
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		町民の各種病気などの予防のため、必要な施策である。（補助事業）				
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点						
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等			計	2	点			
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）			-	
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。				
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		女性のがんとしては、乳がんに次いで2番目に多くなっています。接種対象者の保護者等への意識啓発が重要。乳幼児の細菌性髄膜炎等の予防。				
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点							
	追加事由	1点							
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性			計	2	点			
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。				
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点		予防医療としての効果が大きく、医療費の抑制にも繋がる。				
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点						
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点							
3 達成度	(1)達成度の測定			計	1	点			
		区分	指標（算式）	単位	平成21年実績	平成22年実績	平成23年実績	平成23年当初計画	
	活動指標	具体的な活動の内容	指標	子宮頸がんワクチン接種対象者	人		21	19	12
			(算式)						
	成果指標	どれだけの成果が現れたか	指標	小児用肺炎球菌ワクチン、ヒブワクチン	人		90	66	33
			(算式)						
			指標	子宮頸がんワクチン接種者数	人		19	19	12
			(算式)						
			指標	小児用肺炎球菌ワクチン、ヒブワクチン	人		58	23	
			(算式)						
	活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。					
	意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点		接種者及び保護者等に事業内容について、認識が理解できた。					
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点							

4 効果性	(1)事業費の推移		計	1	点																																																																																																																											
	区分	単位	平成21年決算額	平成22年決算額	平成23年決算額	平成23年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額																																																																																																																							
	事業費	千円	0	3,772	2,485			低下している	1点																																																																																																																							
	国・道費	千円		857	1,147	区分(節)	金額	変わらない	0点																																																																																																																							
	地方債	千円				委託料	2,412	上昇している	-1点																																																																																																																							
	その他	千円						事業費の1/2は道費補助																																																																																																																								
(財源内訳)	一般財源	千円		2,915	1,338			説明																																																																																																																								
(2)手法の効率化		計	1	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																											
現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。				1点	ワクチンで予防防止し、病気がん予防に効果がある。																																																																																																																											
執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。				1点																																																																																																																												
外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。				1点																																																																																																																												
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低 必要性+有効性 高																																																																																																																											
	A		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 必要性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>2 有効性</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>3 達成度</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>4 効果性</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>		項目	点数	1 必要性	4	2 有効性	2	3 達成度	1	4 効果性	2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8~</th> <th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>低</td> </tr> </tbody> </table>					0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高										6							A			5										4										3										2										1								B		0										-1										-2									
項目	点数																																																																																																																															
1 必要性	4																																																																																																																															
2 有効性	2																																																																																																																															
3 達成度	1																																																																																																																															
4 効果性	2																																																																																																																															
0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																							
									6																																																																																																																							
						A			5																																																																																																																							
									4																																																																																																																							
									3																																																																																																																							
									2																																																																																																																							
									1																																																																																																																							
							B		0																																																																																																																							
									-1																																																																																																																							
									-2																																																																																																																							
									低																																																																																																																							
担当課評価	<p>上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。</p> <p>評価は、次のA～Dによります。</p>																																																																																																																															
一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																															
	現状のまま事業を継続					事業を拡充して継続																																																																																																																										
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																															
	事業の簡素化、効率化による改善					執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																										
	事業手法の見直しによる改善					住民参加等の推進による改善																																																																																																																										
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善					その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																										
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																															
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討					対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																										
	必要性等を再検証し事業規模、計画等を見直しを検討					他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																										
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討					その他																																																																																																																										
D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																																
廃止		統合			縮小			凍結		新たな事業への転換																																																																																																																						
事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨					廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難	その他																																																																																																																						
説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。					今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																										
	子宮頸がん及び細菌性髄膜炎を予防及び罹患率減少のため、継続して行う必要がある。																																																																																																																															
二次評価	庁内委員会評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																								
	A		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																							
	説明		現状維持により事業継続																																																																																																																													
三次評価	三次評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																								
	A		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																							
	説明																																																																																																																															

平成24年度（平成23年度決算）事務事業評価シート

平成24年 8月 9日 作成

		担当課	保健福祉グループ					
事務事業名		老人保健費			施策コード			
施策の体系	大項目	全ての源「健康福祉」の充実			法的	法令	条例	その他
	中項目	健康づくりの推進			根拠等	健康増進法		
	小項目	保健予防			実施	直営	委託	その他
	財務名称	老人保健費			方法			
事業概要	病後のリハビリ教室の実施や及び健康教育の実施。							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	脳障害などの病後の町民等。			リハビリ教室（年23回、278人参加）。健康教育等（年21回、312人参加）。				
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）							
			脳障害等の罹患者の退院後の日常生活の資質の向上を図るため健康教育等やリハビリ教室を実施し、町民の健康増進を図る。					
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	2	点		
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由	1点			
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）			
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		町民の健康教育及び生活改善のため、自治体の最低限の施策の一つである。			
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等			計	2	点		
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）			
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		健康で長生きするための方策としての意識改革として重要である。			
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加事由	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性			計	3	点		
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点		生活習慣病の予防等のため正しい知識の普及を図ることにより、認識と自覚を高め健康の保持増進。リハビリは、閉じこもりを防止し、日常生活の自立を助け介護予防する。			
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定			計	1	点		
		区分	指標（算式）	単位	平成21年実績	平成22年実績	平成23年実績	平成23年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	リハビリ教室	回	21	20	23	
		（算式）						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	参加者	人	381	287	278	
		（算式）						
		指標	参加者	人	229	306	312	
		（算式）						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。			
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点		閉じこもりことなく、教室などを楽しみにしている対象者が増えてきた。			
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移		計		1	点																																																																																																																																		
	区 分	単位	平成21年決算額	平成22年決算額	平成23年決算額	平成23年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)	単位コスト	一般財源額																																																																																																																																
	事業費	千円	1,094	1,106	666		低下している	1点																																																																																																																																
	国・道費	千円	405	405	443	区分(節) 金額	変わらない	0点																																																																																																																																
	地方債	千円				報償費 440	上昇している	-1点																																																																																																																																
	その他	千円					説明	財源については、1/2道補助金である。																																																																																																																																
	一般財源	千円	689	701	223																																																																																																																																			
	(2)手法の効率化		計		1	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																																	
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。				1点	健康教育の実施により、予防医療に効果がある。																																																																																																																																		
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。				1点																																																																																																																																			
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。				1点																																																																																																																																			
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低 必要性+有効性 高																																																																																																																																			
	A		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>点数</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要性</td> <td>4</td> <td rowspan="2">7</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>有効性</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>達成度</td> <td>1</td> <td rowspan="2">3</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>効果性</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>			項目	点数		1	必要性	4	7	2	有効性	3	3	達成度	1	3	4	効果性	2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8~</th> <th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>低</td> </tr> </tbody> </table>					0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高										6							A			5										4										3										2										1								B		0										-1										-2									
	項目	点数																																																																																																																																						
1	必要性	4	7																																																																																																																																					
2	有効性	3																																																																																																																																						
3	達成度	1	3																																																																																																																																					
4	効果性	2																																																																																																																																						
0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																															
									6																																																																																																																															
						A			5																																																																																																																															
									4																																																																																																																															
									3																																																																																																																															
									2																																																																																																																															
									1																																																																																																																															
							B		0																																																																																																																															
									-1																																																																																																																															
									-2																																																																																																																															
									低																																																																																																																															
担当課評価	A		上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA～Dによります。																																																																																																																																					
一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																																							
	現状のまま事業を継続				事業を拡充して継続																																																																																																																																			
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																																							
	事業の簡素化、効率化による改善				執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																																			
	事業手法の見直しによる改善				住民参加等の推進による改善																																																																																																																																			
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善				その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																																			
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																																							
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討				対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																																			
	必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討				他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																																			
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討				その他																																																																																																																																			
D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																																								
廃止			統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																															
事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨				廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難		その他																																																																																																																														
説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。				今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																																			
	町民の健康増進のため、正しい知識の認識と自覚を高め健康教育及び介護予防のためリハビリ教室などを継続していく必要がある。																																																																																																																																							
二次評価	庁内委員会評価		A		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																															
					D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合																																																																																																																															
					縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																															
三次評価	三次評価		A		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																															
					D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合																																																																																																																															
					縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																															

平成24年度（平成23年度決算）事務事業評価シート

平成24年 8月 1日 作成

		担当課	保健福祉グループ					
事務事業名		女性特有のがん検診推進事業費			施策コード			
施策の体系	大項目	全ての源「健康福祉」の充実			法的	法令	条例	その他
	中項目	健康づくりの推進			根拠等	健康増進法		
	小項目	保健予防			実施	直営	委託	その他
	財務名称	女性特有のがん検診推進事業費			方法			
事業概要	子宮がん検診や乳がん検診を実施し、予防医療としての事業推進を図っている。平成23年度からは大腸がん検診を実施。							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	子宮がんは20歳以上女性及び乳がんは40歳以上の女性。大腸がんは40歳以上の一般成人を対象に検診を実施。			子宮がん検診は満20歳から40歳までの5歳刻みの女性に対し、無料クーポン券を配布。乳がん検診は、満40歳から60歳までの5歳刻みの女性に対し、無料クーポン券を配布。大腸がん検診は、満40歳から60歳までの5歳刻みの一般成人に				
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）							
がん検診の推進と受診率の向上により、町民のがん予防及び早期発見・早期治療を図る。								
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	2	点		
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由	1点			
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）		-	
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		町民のがん予防のため、自治体の最低限の施策の一つであるとともに医療費の抑制が図られる。			
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等			計	3	点		
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）		-	
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		現在の死亡原因の第1位であるがんにかからないようにするため、検診に対する町民の意識の啓発を図る。			
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加事由	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性			計	2	点		
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点		がんによる死亡者を数を減少させるため、検診受診率の向上を図り、がんの早期発見、早期治療により町民の健康保持に寄与する。			
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定			計	2	点		
		区分	指標（算式）	単位	平成21年実績	平成22年実績	平成23年実績	平成23年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	乳がん検診受診見込	人	190	190	190	190
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	子宮がん検診受診見込	人	210	210	210	210
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	乳がん検診受診者	人	173	177	134	190
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	子宮がん検診受診者	人	148	125	120	200
		(算式)						
	活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。				
	意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点		がん検診を受信することにより、病気の早期発見・早期治療につながり、町民の健康保持に寄与することができている。				
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移				計	点																																																																																																																									
	区分	単位	平成21年決算額	平成22年決算額	平成23年決算額	平成23年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)	単位コスト	一般財源額																																																																																																																							
	事業費	千円	793	793	724		低下している	1点																																																																																																																							
	国・道費	千円	793	396	361	区分(節) 金額	変わらない	0点																																																																																																																							
	地方債	千円	0	0	0	委託料 446	上昇している	-1点																																																																																																																							
	その他	千円	0	0	0		説明	財源については、1/2国庫補助金である。																																																																																																																							
	(2)手法の効率化				計	1	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																							
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。							町民の意識改革のため、対象者に対し受診促進を図っている。																																																																																																																							
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。							1点																																																																																																																							
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。							1点																																																																																																																							
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低		必要性+有効性				高																																																																																																																				
	A		<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>点数</th></tr> <tr><td>1 必要性</td><td>5</td></tr> <tr><td>2 有効性</td><td>2</td></tr> <tr><td>3 達成度</td><td>2</td></tr> <tr><td>4 効果性</td><td>1</td></tr> </table>		項目	点数	1 必要性	5	2 有効性	2	3 達成度	2	4 効果性	1	<table border="1"> <tr><th>0</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8~</th><th>高</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>6</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>5</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>4</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-1</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-2</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>低</td></tr> </table>		0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高										6										5										4										3										2										1										0										-1										-2										低	達成度+効果性
項目	点数																																																																																																																														
1 必要性	5																																																																																																																														
2 有効性	2																																																																																																																														
3 達成度	2																																																																																																																														
4 効果性	1																																																																																																																														
0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																						
									6																																																																																																																						
									5																																																																																																																						
									4																																																																																																																						
									3																																																																																																																						
									2																																																																																																																						
									1																																																																																																																						
									0																																																																																																																						
									-1																																																																																																																						
									-2																																																																																																																						
									低																																																																																																																						
担当課評価	<p>上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。</p> <p>評価は、次のA~Dによります。</p>																																																																																																																														
一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																														
	現状のまま事業を継続					事業を拡充して継続																																																																																																																									
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																														
	事業の簡素化、効率化による改善					執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																									
	事業手法の見直しによる改善					住民参加等の推進による改善																																																																																																																									
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善					その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																									
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																														
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討					対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																									
	必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討					他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																									
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討					その他																																																																																																																									
説明	D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																														
	廃止			統合			縮小			凍結		新たな事業への転換																																																																																																																			
	事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨					廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難		その他																																																																																																																			
一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。					今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																										
がんの早期発見、早期治療には検診により早期に発見することが重要であり、継続して事業実施すべきである。																																																																																																																															
二次評価	<table border="1"> <tr> <td>A 現状にて事業を継続または拡充</td> <td colspan="3">B 事業の進め方の改善・検討が必要</td> <td colspan="5">C 事業規模、内容の見直しが必要</td> </tr> <tr> <td>D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨</td> <td>廃止</td> <td>統合</td> <td>縮小</td> <td>凍結</td> <td colspan="6">新たな事業への転換</td> </tr> </table>											A 現状にて事業を継続または拡充	B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要					D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨	廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																					
	A 現状にて事業を継続または拡充	B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																										
D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨	廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																										
説明 現状維持により事業継続																																																																																																																															
三次評価	<table border="1"> <tr> <td>A 現状にて事業を継続または拡充</td> <td colspan="3">B 事業の進め方の改善・検討が必要</td> <td colspan="5">C 事業規模、内容の見直しが必要</td> </tr> <tr> <td>D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨</td> <td>廃止</td> <td>統合</td> <td>縮小</td> <td>凍結</td> <td colspan="6">新たな事業への転換</td> </tr> </table>											A 現状にて事業を継続または拡充	B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要					D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨	廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																					
	A 現状にて事業を継続または拡充	B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																										
D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨	廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																										
説明 検診を受けた人の満足度を把握し、検診の必要性について訴えることが必要。																																																																																																																															

平成24年度（平成23年度決算）事務事業評価シート

平成24年 8月20日 作成

		担当課	農林グループ					
事務事業名		農業施設維持管理費			施策コード			
施策の体系	大項目	地域を支える産業の充実			法的	法令	条例	その他
	中項目	農畜産業の振興			根拠等	予算措置		
	小項目	農畜産業			実施	直営	委託	その他
	財務名称	農業施設維持管理費			方法	町内業者		
事業概要	農業生産を安定的に発展させ地域農業の振興を図る事を目的とする。							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	農業振興に資する農業者を対象としている。			農業振興を図るため、農道や水路等の農業施設の維持補修等を行う				
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）							
			総合的な推進方針に基づいた農業生産の向上を図るため、農業施設等の整備を行うことにより地域農業の振興を図る。					
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	2	点		
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由	安定的な農地の運営を推進するには、農業施設の維持管理は必要不可欠である。			1点
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）			-
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		農業生産に係る施設の維持管理を行う。			
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等			計	1	点		
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）			-
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		水稲農業者に必要な施設である。			
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加事由 農業施設維持管理については農家からの強い要望がある。	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性			計	2	点		
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点		維持修繕によって施設が健全に保立てる。			
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定			計	2	点		
		区分	指標（算式）	単位	平成21年実績	平成22年実績	平成23年実績	平成23年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	用・排水路使用農家	件	14	14	14	14
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	用・排水維持実施箇所	件	12	12	12	14
		(算式)						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。			
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点		農家に対し生産に必要な水源等を供給するた農業施設の維持管理をしている。			
		あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点					

4 効果性	(1)事業費の推移				計	点																																																																																																																																	
	区分	単位	平成21年決算額	平成22年決算額	平成23年決算額	平成23年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)	単位コスト	一般財源額																																																																																																																															
	事業費	千円	857	379	389		低下している	1点																																																																																																																															
	国・道費	千円				区分(節) 金額	変わらない	0点																																																																																																																															
	地方債	千円				需用費(修繕費) 248	上昇している	-1点																																																																																																																															
	その他	千円				車輛等借上料 104	説明 その年度により修繕費に係る費用に増減があるが、概ね横ばいである。																																																																																																																																
一般財源	千円	857	379	389																																																																																																																																			
	(2)手法の効率化				計	1	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																															
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。					1	点	農業者が農作物の生産に必要な施設を維持するために必要な経費である。																																																																																																																															
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。					1	点																																																																																																																																
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。					1	点																																																																																																																																
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低 必要性+有効性 高																																																																																																																																		
	A		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>点数</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要性</td> <td>3</td> <td rowspan="2">5</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>有効性</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>達成度</td> <td>2</td> <td rowspan="2">3</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>効果性</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>			項目	点数		1	必要性	3	5	2	有効性	2	3	達成度	2	3	4	効果性	1	<table border="1"> <thead> <tr> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8~</th> <th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>低</td> </tr> </tbody> </table>				0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高										6							A			5										4										3										2										1							B			0										-1										-2									
	項目	点数																																																																																																																																					
1	必要性	3	5																																																																																																																																				
2	有効性	2																																																																																																																																					
3	達成度	2	3																																																																																																																																				
4	効果性	1																																																																																																																																					
0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																														
									6																																																																																																																														
						A			5																																																																																																																														
									4																																																																																																																														
									3																																																																																																																														
									2																																																																																																																														
									1																																																																																																																														
						B			0																																																																																																																														
									-1																																																																																																																														
									-2																																																																																																																														
									低																																																																																																																														
担当課評価	A																																																																																																																																						
上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA～Dによります。																																																																																																																																							
一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																																						
	現状のまま事業を継続				事業を拡充して継続																																																																																																																																		
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																																						
	事業の簡素化、効率化による改善				執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																																		
	事業手法の見直しによる改善				住民参加等の推進による改善																																																																																																																																		
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善				その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																																		
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																																						
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討				対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																																		
	必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討				他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																																		
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討				その他																																																																																																																																		
D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																																							
廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																															
事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨				廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難		その他																																																																																																																													
説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。				今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																																		
	経年劣化等により補修等が増えているが、農業にとっては必要な施設である。必要な整備補修を行い施設時維持を図る。				農業施設については、必要な補修等について年次計画をもって実施する。																																																																																																																																		
二次評価	庁内委員会評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																
	A		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																										
	説明		現状維持により事業継続																																																																																																																																				
三次評価	三次評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																
	A		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																										
	説明																																																																																																																																						

平成24年度（平成23年度決算）事務事業評価シート

平成24年 8月20日 作成

担当課 農林グループ

事務事業名	民有林振興事業費	施策コード	
施策の体系	大項目	地域を支える産業の充実	法的
	中項目	林業の振興	法令
	小項目	林業	条例
	財務名称	民有林振興事業費	その他
		補助金交付要綱	
		実施	直営
		方法	委託
			その他
		森林組合	

事業概要
民有林の造林及び保育事業の推進を図る。

事業の目的 (1)対象（誰を、何を対象としているのか） 造林事業を行った森林所有者。 (2)意図（対象をどのような状態にしたいのか） 森林所有者の森林整備への負担を軽減することで、林地の荒廃を防止、林業の活性化及び自然環境の維持が図られる。	(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか） 福島県民有林振興補助金交付要綱に基づき、造林事業を行った森林所有者に対し補助金を交付する。
---	--

1 必要性	(1) 町関与の根拠（町が行う必要がある事業か） 計 2 点	
	法令等で実施が義務付けられている事業。	1点
	追加事由 自然環境の維持が図られる。（地球温暖化対策）	1点
	生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点
	内部管理・運営等の事業。（点数対象外）	-
	社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点
	（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。	
	町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点
	発展的な林業運営を推進するために支援は必要不可欠である。	
	民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点
(2) 社会情勢や町民ニーズの変化等 計 1 点		
国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点	
法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）	-	
対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点	
（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。		
事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点	
森林所有者から強い要望がある。		
限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点	
追加事由 造林事業を行った森林所有者に対し必要な制度である。	1点	

2 有効性	(1) 成果・協働に対する事業の有効性 計 2 点	
	施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点
	（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。	
	事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点
	林業施策と合致している。	
類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点	
町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点	

3 達成度	(1) 達成度の測定 計 2 点		
	区分	指標（算式）	
	活動指標 具体的な活動の内容	指標 保育事業実施面積	単位
		（算式）	h a
		指標	平成21年実績
		（算式）	平成22年実績
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標 搬出材積	単位
		（算式）	立米
		指標	平成21年実績
		（算式）	平成22年実績
	活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点	
	（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。		
	意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点	
	適正な保育事業を行うことにより、間伐材売払いの拡充につながる成果があった。		
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点	

平成24年度（平成23年度決算）事務事業評価シート

平成24年 8月20日 作成

		担当課	水産グループ					
事務事業名		漁港管理費			施策コード	1111113		
施策の体系	大項目	地域を支える産業の充実			法的	法令	条例	その他
	中項目	水産業の振興			根拠等	道漁港管理条例		
	小項目	水産業			実施	直営	委託	その他
	財務名称	漁港管理費			方法			
事業概要	漁港施設の維持管理、外灯維持、漁港監視							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	漁業者 152人 漁船 237隻			1) 漁港施設内の外灯調査の実施並びに安全確保のための順廻 2) 漁業者への委託による監視業務				
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）							
1) 漁港の夜間利用の安全確保及び防犯 2) 漁港監視業務による効率的な利用促進								
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	1	点		
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由		1点		
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）		-	
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		北海道漁港管理条例に基づき漁港の維持管理を北海道より委託管理されている。			
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等			計	2	点		
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）		-	
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		漁業者の安全漁港の効率的利用には不可欠			
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加事由 漁業者の生産に直結する事業	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性			計	1	点		
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点		漁港を管理する上で常に漁港を利用する漁業者並びに漁港監視員との連携をすることにより防犯強化が図られる。			
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定			計	1	点		
	区分	指標（算式）		単位	平成21年実績	平成22年実績	平成23年実績	平成23年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	漁港外灯総数	基	102	102	102	4
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	漁港内防犯件数	件	3	2	1	0
		(算式)						
		指標						
		(算式)						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。			
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点		漁港監視人を置くことにより早期に修繕対応が可能となった。			
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移		計	1	点																																																																																																																																			
	区分	単位	平成21年決算額	平成22年決算額	平成23年決算額	平成23年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額																																																																																																																															
	事業費	千円	20,837	3,385	3,316			低下している	1点																																																																																																																															
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない	0点																																																																																																																															
	地方債	千円				需用費	1,491,849	上昇している	-1点																																																																																																																															
	その他	千円				委託料	1,102,760	説明 電気料などの需用費の減並びに負担金の減少																																																																																																																																
一般財源	千円	20,837	3,385	3,316																																																																																																																																				
(2)手法の効率化		計	1	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																																			
現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。			1	点	漁港利用管理上必要な需用費であり、委託についても監視員を置くことにより各漁港の問題点を早期発見、対応できるため利用している漁業者に監視をしてもらうことが重要。																																																																																																																																			
執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。			1	点																																																																																																																																				
外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。			1	点																																																																																																																																				
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低 必要性+有効性 高																																																																																																																																			
	A		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>点数</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要性</td> <td>3</td> <td rowspan="2">4</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>有効性</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>達成度</td> <td>1</td> <td rowspan="2">3</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>効果性</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>			項目	点数		1	必要性	3	4	2	有効性	1	3	達成度	1	3	4	効果性	2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>低</th> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8~</th> <th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>-2</td> </tr> </tbody> </table>					低	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高								A			6											5											4											3											2											1								B			0											-1										
	項目	点数																																																																																																																																						
1	必要性	3	4																																																																																																																																					
2	有効性	1																																																																																																																																						
3	達成度	1	3																																																																																																																																					
4	効果性	2																																																																																																																																						
低	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																														
							A			6																																																																																																																														
										5																																																																																																																														
										4																																																																																																																														
										3																																																																																																																														
										2																																																																																																																														
										1																																																																																																																														
							B			0																																																																																																																														
										-1																																																																																																																														
										-2																																																																																																																														
担当課評価		上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA～Dによります。																																																																																																																																						
一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																																							
	現状のまま事業を継続					事業を拡充して継続																																																																																																																																		
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																																							
	事業の簡素化、効率化による改善					執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																																		
	事業手法の見直しによる改善					住民参加等の推進による改善																																																																																																																																		
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善					その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																																		
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																																							
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討					対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																																		
	必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討					他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																																		
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討					その他																																																																																																																																		
D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																																								
廃止		統合			縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																															
事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨					廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難		その他																																																																																																																													
説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。					今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																																		
	漁港監視員や漁業者との連携し、漁港利用の向上や防犯強化したことによる取組は必須であるとする。																																																																																																																																							
二次評価	庁内委員会評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																
	A		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																															
	説明		現状維持により事業継続																																																																																																																																					
三次評価	三次評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																
	A		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																															
	説明																																																																																																																																							

平成24年度（平成23年度決算）事務事業評価シート

平成24年 8月20日 作成

担当課 商工観光グループ

事務事業名	労働諸費	施策コード				
施策の体系	大項目	全ての源「健康福祉」の充実	法的	法令	条例	その他
	中項目	社会福祉の充実	根拠等	労働法		
	小項目	労働者福祉	実施	直営	委託	その他
	財務名称	労働諸費	方法			

事業概要
雇用保険等の手続きや職業紹介・技能習得等の労働支援や、福島町職業援護相談所の補助支援を行っている。

事業の目的 (1)対象（誰を、何を対象としているのか） (1)町民 (2)福島町職業援護相談所会員（H24年度会員数74人） (2)意図（対象をどのような状態にしたいのか） (1)町民の就労活動への推進を図る。 (2)町民の労働手続等の支援を図る。 (2)町内季節労働者の慰労及び労働環境等の把握と労働条件の向上を図る。	(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか） (1)西部4町及び函館管内の職業紹介 (2)渡島西部通年雇用促進支援協議会を通じての技能習得等や通年雇用支援セミナー（平成23年度渡島西部通年雇用支援協議会負担金50,000円） (3)福島町職業援護相談所への補助金（380,000円）
--	---

1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）		計	3	点	
	法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由		1点	
	生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点	内部管理・運営等の事業。（点数対象外）			
	社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点	（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
	町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点	雇用保険等の諸労働手続の支援をしていくうえでは必要不可欠な事業である。			
	民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点				
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等		計	3	点	
	国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点	法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）			
	対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点	（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。			
	事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点	労働・就労の支援等については全国的に見てもニーズが高い事業である。			
限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点					
追加事由	1点					

2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性		計	3	点	
	施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点	（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。			
	事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点	雇用保険受給の円滑な手続き運営、就労に向けての技能習得等支援、また、町内季節労働者の就労実態の把握等をするうえで有効的役割を果たしている。			
	類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点				
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点				

3 達成度	(1)達成度の測定		計	1	点			
	区分	指標（算式）	単位	平成21年実績	平成22年実績	平成23年実績	平成23年当初計画	
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	会員数	人	82	79	74	74
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	就労している会員数	人	31	9	20	74
		(算式)						
		指標	就業実態調査回収率	%	40	14	28	40
	(算式)							
	活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。		1点	（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。				
	意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）		1点	1年に1回の総会のみ開催であるが、就労状況等の把握の場として効果をあげている。				
あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）		-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移				計	1	点		
	区分	単位	平成21年決算額	平成22年決算額	平成23年決算額	平成23年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額
	事業費	千円	486	461	449			低下している	1点
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない	0点
	地方債	千円				旅費	18,800	上昇している	-1点
	その他	千円				負担金・補助及	430,000	説明 既設労働者の慰問旅費について慰問場所・人数により旅費分が減少をする。負担金・補助金については前年度同額である。	
一般財源	千円	486	461	449					
(2)手法の効率化				計	1	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。		
現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。					1	点	職業援護相談所総会の開催前に事前調査として季節労働者会員に就労実態調査のアンケートをとっている。		
執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。					1	点			
外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。					1	点			

項目別点数による評価	項目別点数による評価結果	項目別点数表		必要性+有効性										
	A	項目	点数	低	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高
		1	必要性	6							A			6
		2	有効性	3										5
		3	達成度	1										4
		4	効果性	2										3
														2
														1
														0
														-1
														-2

担当課評価	A	上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA～Dによります。
-------	---	--

一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)	現状のまま事業を継続	事業を拡充して継続				
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)	事業の簡素化、効率化による改善	執行体制の見直し(外部委託等)による改善				
		事業手法の見直しによる改善	住民参加等の推進による改善				
		事業内容や契約方法等の見直しによる改善	その他効果的・効率的手法の検討による改善				
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)	制度・事業内容の全面的な見直しを検討	対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討				
		必要性等を再検証し事業規模、計画等を見直しを検討	他の事業、類似事業への統合・転換を検討				
		計画期間の延伸、事業費平準化等を検討	その他				
	D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)	廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換	
		事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨		廃止可能	条件が整えば廃止検討可能	廃止は困難	その他

説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。	今後の改善策等を具体的に記入します。
	町内季節労働者の実態把握・町内就労者に対する雇用保険手続支援等は今後も必ずしていかなければならない事業なので継続していくべきである。	町内季節労働者の実態把握調査の回収率が減少してきているので新たな調査方法を模索する必要がある。

二次評価	庁内委員会評価	A 現状にて事業を継続または拡充	B 事業の進め方の改善・検討が必要	C 事業規模、内容の見直しが必要		
		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨	廃止	統合	縮小	凍結
	説明	現状維持により事業継続				

三次評価	三次評価	A 現状にて事業を継続または拡充	B 事業の進め方の改善・検討が必要	C 事業規模、内容の見直しが必要		
		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨	廃止	統合	縮小	凍結
	説明					

平成24年度（平成23年度決算）事務事業評価シート

平成24年 8月20日 作成

		担当課	商工観光グループ					
事務事業名	商工振興費		施策コード					
施策の体系	大項目	地域を支える産業の充実	法的	法令	条例	その他		
	中項目	商業の振興	根拠等	補助金交付規則				
	小項目	商業	実施	直営	委託	その他		
	財務名称	商工振興費	方法					
事業概要	商工会の経営改善事業・その他事業に係る補助や町内中小企業者への信用保証料補給に係る補助事業を行う。							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）		(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）					
	福島町商工会及び町内中小企業者を対象としている。		(1) 商工会経営改善普及事業に係る補助金交付（7,092,245円） (2) プレミアム付商品券発行事業に係る補助金交付（9,000,000円） (3) 町内中小企業者への信用保証料等補給事業					
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）							
		(1) 商工会の経営改善及びその他事業の推進を図る。 (2) 町内中小企業者の商工業振興を図る。						
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）		計	2	点			
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由	1点			
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）			
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		町内商工業者の振興・推進を図るうえでは必要不可欠な事業である。			
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等		計	1	点			
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）			
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		商工会の経営補助、町内商工業者への融資に係る保証支援をしている。			
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加事由	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性		計	3	点			
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点		商工会の経営・その他事業及び町内商工業者への保証支援事業を行うことで商工振興を図れるので有効である。			
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定		計	2	点			
	区分	指標（算式）	単位	平成21年実績	平成22年実績	平成23年実績	平成23年当初計画	
	活動指標 具体的な活動の内容	指標 (算式)	プレミアム付商品券販売予定額	千円	0	25,410	30,000	30,000
		指標 (算式)	商工会経営改善普及事業補助金	千円	8,500	8,303	7,093	7,615
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標 (算式)	プレミアム付商品券使用実績額	千円	0	33,033	38,907	39,000
		指標 (算式)						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。			
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点		プレミアム付商品券発行事業改善等もされてきているため、町民の認知度も高く必要性があることも得られてきている。			
		あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点					

4 効果性	(1)事業費の推移					計	点																																																																																																																																													
	区 分	単位	平成21年決算額	平成22年決算額	平成23年決算額	平成23年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)	単位コスト	一般財源額																																																																																																																																												
	事業費	千円	9,839	14,982	16,301		低下している	1点																																																																																																																																												
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない																																																																																																																																												
	地方債	千円				旅費	138,000	上昇している																																																																																																																																												
	その他	千円				負担金・補助及	16,164,398	説明	商工会職員の異動による経営改善事業補助金交付額の変更等により年度毎に上昇・減少がある。																																																																																																																																											
	一般財源	千円	9,839	14,982	16,301																																																																																																																																															
	(2)手法の効率化					計	1	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																																											
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。						1	点	商工会への経営改善及びプレミアム付商品券発行事業補助をしているなかで専門的な分野等も含め商工業の振興を図っている。																																																																																																																																											
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。						1	点																																																																																																																																												
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。						1	点																																																																																																																																												
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低 必要性+有効性 高																																																																																																																																															
	A		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>点数</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要性</td> <td>3</td> <td rowspan="2">6</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>有効性</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>達成度</td> <td>2</td> <td rowspan="2">3</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>効果性</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>			項目	点数		1	必要性	3	6	2	有効性	3	3	達成度	2	3	4	効果性	1	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">低</th> <th colspan="6">必要性+有効性</th> <th colspan="2">高</th> </tr> <tr> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8~</th> <th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>低</td> </tr> </tbody> </table>							低		必要性+有効性						高		0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高										6							A			5										4										3										2										1								B		0										-1										-2									
	項目	点数																																																																																																																																																		
1	必要性	3	6																																																																																																																																																	
2	有効性	3																																																																																																																																																		
3	達成度	2	3																																																																																																																																																	
4	効果性	1																																																																																																																																																		
低		必要性+有効性						高																																																																																																																																												
0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																																											
									6																																																																																																																																											
						A			5																																																																																																																																											
									4																																																																																																																																											
									3																																																																																																																																											
									2																																																																																																																																											
									1																																																																																																																																											
							B		0																																																																																																																																											
									-1																																																																																																																																											
									-2																																																																																																																																											
									低																																																																																																																																											
担当課評価	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; margin-bottom: 10px;">A</div> <p>上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA～Dによります。</p>																																																																																																																																																			
一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																																																			
	現状のまま事業を継続					事業を拡充して継続																																																																																																																																														
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																																																			
	事業の簡素化、効率化による改善					執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																																														
	事業手法の見直しによる改善					住民参加等の推進による改善																																																																																																																																														
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善					その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																																														
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																																																			
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討					対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																																														
	必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討					他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																																														
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討					その他																																																																																																																																														
D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																																																				
廃止		統合			縮小			凍結		新たな事業への転換																																																																																																																																										
事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨					廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難		その他																																																																																																																																									
説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。					今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																																														
	町内商工業の発展及び振興を図るうえでは必要不可欠な事業であり、今後も継続していきべきである。					プレミアム付商品券発行事業だけではなく新たな事業を商工会との連携を図りながら商工業者だけではなく全町的な規模で行えるような事業展開を模索をしていく。																																																																																																																																														
二次評価	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; margin-bottom: 10px;">A</div>																																																																																																																																																			
	A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																														
	D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止	統合		縮小	凍結		新たな事業への転換																																																																																																																																											
三次評価	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; margin-bottom: 10px;">A</div>																																																																																																																																																			
	A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																														
	D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止	統合		縮小	凍結		新たな事業への転換																																																																																																																																											
説明																																																																																																																																																				

平成24年度（平成23年度決算）事務事業評価シート

平成24年 8月20日 作成

担当課 商工観光グループ

事務事業名		地場産業開発研究事業費		施策コード				
施策の体系	大項目	地域を支える産業の充実		法的	法令	条例	その他	
	中項目	商業の振興		根拠等	予算措置			
	小項目	商業		実施	直営	委託	その他	
	財務名称	地場産業開発研究事業費		方法	商工会			
事業概要	福島町地場産業開発研究会へ補助金交付をし、当研究会を通じて地場産品を利用した新商品の開発及び特産品の販路拡大を図る。							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	福島町地場産業開発研究会を対象としている。			福島町地場産業開発研究会への補助金交付（800,000円）				
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）							
			(1)地場産品を使用した新商品の開発を図る。 (2)特産品の販路拡大を図る。					
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	1	点		
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由		1点		
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）		-	
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		特産品のブランド化を主とした新商品開発・販路拡大等のニーズが強まってきているなかで当事業においては必要不可欠な事業である。			
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等			計	2	点		
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）		-	
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		今後の特産品開発及び販路拡大をしていくうえでは必要な役割を担っている。			
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加事由	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性			計	1	点		
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。	1点		今後の町の特産品開発・販路拡大を推進することとして有効である。			
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
		町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点					
3 達成度	(1)達成度の測定			計	1	点		
	区分	指標（算式）		単位	平成21年実績	平成22年実績	平成23年実績	平成23年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	ダイレクトメール送信回数	回	2	2	2	2
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	売上額	円	2,965,610	2,906,770	2,924,985	2,950,000
		(算式)						
		指標						
		(算式)						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。			
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点		特産品の売上向上に向けてネットでの販売及びダイレクトメールの発信業務もやっている。			
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移				計	点																																																																																																																												
	区分	単位	平成21年決算額	平成22年決算額	平成23年決算額	平成23年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)	単位コスト	一般財源額																																																																																																																										
	事業費	千円	800	800	800		低下している	1点																																																																																																																										
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない	0点																																																																																																																									
	地方債	千円				負担金・補助及	800,000	上昇している	-1点																																																																																																																									
	その他	千円						説明	継続性が求められる事業であり、事業費はほぼ横ばいで推移している。																																																																																																																									
	(2)手法の効率化				計	点																																																																																																																												
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。					1点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。 当研究会事務局を商工業関連に特化している商工会に置き、事業の効率化を図っている。																																																																																																																											
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。					1点																																																																																																																												
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。					1点																																																																																																																												
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低 必要性+有効性 高																																																																																																																													
	B		<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>点数</th></tr> <tr><td>1 必要性</td><td>3</td></tr> <tr><td>2 有効性</td><td>1</td></tr> <tr><td>3 達成度</td><td>1</td></tr> <tr><td>4 効果性</td><td>1</td></tr> </table>		項目	点数	1 必要性	3	2 有効性	1	3 達成度	1	4 効果性	1	<table border="1"> <tr><th>0</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8~</th><th>高</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>A</td><td></td><td></td><td>6</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>5</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>4</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>B</td><td></td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-1</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-2</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>低</td></tr> </table>						0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高							A			6										5										4										3										2										1							B			0										-1										-2										低
	項目	点数																																																																																																																																
	1 必要性	3																																																																																																																																
	2 有効性	1																																																																																																																																
	3 達成度	1																																																																																																																																
	4 効果性	1																																																																																																																																
	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																								
							A			6																																																																																																																								
										5																																																																																																																								
									4																																																																																																																									
									3																																																																																																																									
									2																																																																																																																									
									1																																																																																																																									
						B			0																																																																																																																									
									-1																																																																																																																									
									-2																																																																																																																									
									低																																																																																																																									
担当課評価		上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA~Dによります。																																																																																																																																
B		A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																																
		現状のまま事業を継続			事業を拡充して継続																																																																																																																													
		B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																																
		事業の簡素化、効率化による改善			執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																													
		事業手法の見直しによる改善			住民参加等の推進による改善																																																																																																																													
		事業内容や契約方法等の見直しによる改善			その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																													
		C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																																
		制度・事業内容の全面的な見直しを検討			対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																													
		必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討			他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																													
		計画期間の延伸、事業費平準化等を検討			その他																																																																																																																													
		D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																																
		廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																								
		事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨			廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難		その他																																																																																																																							
		一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。				今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																												
説明		特産品開発・販路拡大事業と観光事業との連携事業推進を図り現体制の見直しをすることによって両事業の更なる推進を図っていく必要がある。				現体制である地場産業開発研究会の体制見直しを行い、福島町観光協会との連携事業の拡大を行っていく。																																																																																																																												
二次評価	庁内委員会評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																											
	B		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																					
	説明		事業推進体制の再構築を図り、事業改善の検討が必要。																																																																																																																															
三次評価	三次評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																											
	B		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																					
	説明		特産品のブランド化や新商品開発・販路拡大等のニーズが強まってきているなか、当該研究会の事業内容は重要であることから、今後も事業の継続は必要である。 一体的な事業展開が必要であるので、事業推進体制の見直しを図る必要がある。																																																																																																																															

平成24年度（平成23年度決算）事務事業評価シート

平成24年 8月20日 作成

担当課 商工観光グループ

事務事業名	青函トンネル記念館管理運営費				施策コード				
施策の体系	大項目	地域を支える産業の充実			法的根拠等	法令		条例	その他
	中項目	観光の振興				条例			
	小項目	観光			実施方法	直営		委託	その他
	財務名称	青函トンネル記念館管理運営費				商工会			

事業概要
 青函トンネル工事の北海道側の基地を担い、工事記録や技術情報、設備重機等のトンネル文化を後世に伝えるミュージアムとなっており、横綱記念館と並び町の観光拠点となっている。

事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）	(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）
	観光客及び町民を対象としている。	トンネル文化を後世に伝える施設として、商工会に委託業務をして管理運営を行っている。また、特産品の販売業務も合わせて行っている。
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか） (1)トンネル文化を町内外に紹介する施設 (2)観光の拠点施設	

1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）		計	3	点
	法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由		1点
	生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点	内部管理・運営等の事業。（点数対象外）		-
	社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点	（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。		
	町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点	町が事業主体として整備したものであり、平成17年度よりオープンしている。管理運営は商工会に委託している。		
	民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点			
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等		計	1	点
	国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点	法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）		-
	対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点	（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。		
	事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点	町内の観光拠点としての役割を担っている。		

2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性		計	1	点
	施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点	（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。		
	事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点	町のシンボル施設の横綱記念館とともに、観光客滞留のための施設として有効である。		
	類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点			
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点			

3 達成度	(1)達成度の測定		計	1	点			
	区分	指標（算式）	単位	平成21年実績	平成22年実績	平成23年実績	平成23年当初計画	
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	開館日数	日	244	244	244	244
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	入館者数	人	11,556	10,554	9,026	10,400
		(算式)						
		指標						
		(算式)						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点	（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。				
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点	ゴールデンウィーク・シルバーウィークと8月を中心に町内の観光拠点として効果をあげている。				
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移		計			1	点																																																																																																																									
	区分	単位	平成21年決算額	平成22年決算額	平成23年決算額	平成23年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額																																																																																																																							
	事業費	千円	8,717	8,573	8,362			低下している	1点																																																																																																																							
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない	0点																																																																																																																							
	地方債	千円				委託料	5,573,255	上昇している	-1点																																																																																																																							
	その他	千円				需用費	2,602,464	説明 経費節減に努めており、ここ数年は若干ながら事業費の減少が続いている。																																																																																																																								
一般財源	千円	8,717	8,573	8,362	役務費	147,661																																																																																																																										
項目別点数による評価	(2)手法の効率化		計			1	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																								
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。						1点		横綱記念館と同じく、冬期間は入館者に対する管理運営費の比率が高くなるため11/16から3/16の間は休館としている。また、入館者が入っていない時間は施設内の電気を消す等の節電対策も行っている。																																																																																																																							
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。						1点																																																																																																																									
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。						1点																																																																																																																									
一次評価(担当課評価)	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低		必要性+有効性		高																																																																																																																							
	A		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 必要性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>2 有効性</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3 達成度</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>4 効果性</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>		項目	点数	1 必要性	4	2 有効性	1	3 達成度	1	4 効果性	2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8~</th> <th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>低</td> </tr> </tbody> </table>		0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高										6							A			5										4										3										2										1										0										-1										-2										低	達成度+効果性	
	項目	点数																																																																																																																														
	1 必要性	4																																																																																																																														
	2 有効性	1																																																																																																																														
	3 達成度	1																																																																																																																														
	4 効果性	2																																																																																																																														
	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																						
										6																																																																																																																						
							A			5																																																																																																																						
									4																																																																																																																							
									3																																																																																																																							
									2																																																																																																																							
									1																																																																																																																							
									0																																																																																																																							
									-1																																																																																																																							
									-2																																																																																																																							
									低																																																																																																																							
担当課評価		B		上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA~Dによります。																																																																																																																												
A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)		現状のまま事業を継続		事業を拡充して継続																																																																																																																												
B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)		事業の簡素化、効率化による改善		執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																												
		事業手法の見直しによる改善		住民参加等の推進による改善																																																																																																																												
		事業内容や契約方法等の見直しによる改善		その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																												
C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)		制度・事業内容の全面的な見直しを検討		対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																												
		必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討		他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																												
		計画期間の延伸、事業費平準化等を検討		その他																																																																																																																												
D 事業の抜本的見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)		廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																						
事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨		廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難		その他																																																																																																																								
説明		一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。 トンネル文化の町としてのシンボル施設であり、今後も継続的な管理運営が必要であるが、建設後6年を経過していることから、映像装置等をはじめとした内部・外部機器の計画的改修が必要となってきた。		今後の改善策等を具体的に記入します。 映像装置の改修などを計画的に改修するとともに、展示物のリニューアル等で入館者の増員を図る。																																																																																																																												
二次評価	庁内委員会評価		B		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																							
	説明		入館者は減少にあることから、展示物のリニューアルなどでリピーターを確保するなどの、集客対策について検討が必要。		D 事業の抜本的見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																	
三次評価	三次評価		B		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																							
	説明		単なるリニューアルだけではなく、今とは違う方向性を考えるべきである。トンネルに特化するのであれば、鉄道マニアにアイデアを募るとかスペースを貸し出すとか、そういった人をターゲットにするとかの工夫が必要である。		D 事業の抜本的見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																	

平成24年度（平成23年度決算）事務事業評価シート

平成24年 8月20日 作成

担当課 建設水道グループ

事務事業名		道路維持費		施策コード				
施策の体系	大項目	快適な生活環境の整備		法的	法令	条例	その他	
	中項目	総合交通体系の整備		根拠等	道路法			
	小項目	道路		実施	直営	委託	その他	
	財務名称	道路維持費		方法	町内建設業者等			
事業概要	町道の安全な通行確保のための除排雪業務委託ほか							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	町民及び道路使用者			早朝、職員が降雪量を測定し、除雪基準の15CM以上を上回った場合に除雪委託業者に出動を指示している。				
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）							
			車輦や歩行者の円滑な通行のための除排雪作業					
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か） 計 3 点							
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由	1点			
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外） -			
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		道路法42条で「道路管理者は、道路を常時良好な状態に保つよう維持し、一般交通に支障を及ぼさないように努めなければならない。」と規定されている。			
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等 計 2 点							
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外） -			
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		現代社会において、安全で安心な生活、暮らしの実現のためには、緊急車両等の通行を確保し、道路の通行の安全を円滑に保つことは必要不可欠である。			
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加事由	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性 計 2 点							
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点		高齢率が高い当町にあって、高齢者等の移動の円滑化が図れ、緊急車両等の通行が円滑に保たれることは、安全で安心な生活実現のために有効な手段である。			
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定 計 1 点							
	区分	指標（算式）		単位	平成21年実績	平成22年実績	平成23年実績	平成23年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	除雪延長	km	39.5	39.5	39.5	39.5
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	除雪出動回数除雪出動回数	回	14	19	25	
		(算式)						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。			
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点		降雪量が除雪出動基準15CMに達すると、除雪出動している。			
		あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点					

4 効果性	(1)事業費の推移				計	点																																																																																																																																														
	区 分	単位	平成21年決算額	平成22年決算額	平成23年決算額	平成23年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額																																																																																																																																											
	事業費	千円	29,442	59,263	85,681			低下している	1点																																																																																																																																											
	国・道費	千円	3,400	9,300	19,500	区分(節)	金額	変わらない	0点																																																																																																																																											
	地方債	千円				委託料	84,910,708	上昇している	-1点																																																																																																																																											
	その他	千円				需用費	391,164	説明 毎年の降雪量により事業費は増減する。臨時市町村除雪事業補助金19,500千円																																																																																																																																												
一般財源	千円	26,042	49,963	66,181																																																																																																																																																
	(2)手法の効率化				計	3	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																																												
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。					1	点	平成17年度から除雪出動基準を降雪量が10CMから15CMに変更し除雪費の縮減を図っているが、これ以上の縮減は、道路の安全確保に影響が出るため、難しい状況にある。																																																																																																																																												
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。					1	点																																																																																																																																													
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。					1	点																																																																																																																																													
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低 必要性+有効性 高																																																																																																																																															
	A		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th colspan="2">点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要性</td> <td>5</td> <td rowspan="2">7</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>有効性</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>達成度</td> <td>1</td> <td rowspan="2">4</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>効果性</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>			項目	点数		1	必要性	5	7	2	有効性	2	3	達成度	1	4	4	効果性	3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>低</th> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8~</th> <th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>-2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低</td> </tr> </tbody> </table>						低	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高											6								A			5											4											3											2											1								B			0											-1											-2										
	項目	点数																																																																																																																																																		
1	必要性	5	7																																																																																																																																																	
2	有効性	2																																																																																																																																																		
3	達成度	1	4																																																																																																																																																	
4	効果性	3																																																																																																																																																		
低	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																																										
										6																																																																																																																																										
							A			5																																																																																																																																										
										4																																																																																																																																										
										3																																																																																																																																										
										2																																																																																																																																										
										1																																																																																																																																										
							B			0																																																																																																																																										
										-1																																																																																																																																										
										-2																																																																																																																																										
										低																																																																																																																																										
担当課評価	A																																																																																																																																																			
上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。評価は、次のA～Dによります。																																																																																																																																																				
一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																																																			
	現状のまま事業を継続					事業を拡充して継続																																																																																																																																														
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																																																			
	事業の簡素化、効率化による改善					執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																																														
	事業手法の見直しによる改善					住民参加等の推進による改善																																																																																																																																														
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善					その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																																														
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																																																			
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討					対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																																														
	必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討					他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																																														
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討					その他																																																																																																																																														
説明	D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																																																			
	廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																																											
	事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨					廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難	その他																																																																																																																																									
一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。					今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																																															
町道の幅員等にあった除雪車の配置、道路の状況及び各地区ごとの降雪量を把握することにより除雪の効率性を高めて行きたい。																																																																																																																																																				
二次評価	庁内委員会評価																																																																																																																																																			
	A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																														
三次評価	D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																																									
	現状維持により事業継続																																																																																																																																																			
A 現状にて事業を継続または拡充																																																																																																																																																				
B 事業の進め方の改善・検討が必要					C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																															
D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨					廃止		統合		縮小		凍結	新たな事業への転換																																																																																																																																								
説明																																																																																																																																																				

平成24年度（平成23年度決算）事務事業評価シート

平成24年 8月 8日 作成

担当課 建設水道グループ

事務事業名	住宅管理費	施策コード				
施策の体系	大項目	快適な生活環境の整備	法的	法令	条例	その他
	中項目	快適な環境の整備	根拠等	公営住宅法等		
	小項目	住宅	実施	直営	委託	その他
	財務名称	住宅管理費	方法			

事業概要 町営住宅の管理に必須な団地内街灯電気料や浄化槽法定検査手数料等の支払い管理。

事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）	(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）
	町営住宅施設を対象としている。 管理戸数262戸	施設維持の為発生する経常的費用（団地内街灯電気料、浄化槽検査手数料外）の支払いを行う。
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか） 対象の状態を良好に維持する。	

1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）	計	3	点
	法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由	1点
	生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点	内部管理・運営等の事業。（点数対象外）	-
	社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点	（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。	
	町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点	団地内街灯や浄化槽など、町所有施設であり町予算により支払いするのが適正である。	
	民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点		
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等	計		点
	国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点	法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）	-
	対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点	（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。	
	事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点	住宅管理費は経常費の支払いのみであり、施設管理は別事業なので今事業はニーズに関係しないと考えられる。	

2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性	計	1	点
	施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点	（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。	
	事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点	適正に料金等を支払いすることによってサービスを停滞させることが無く住環境の向上につながっている。	
	類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点		
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点		

3 達成度	(1)達成度の測定	計	1	点				
	区分	指標（算式）	単位	平成21年実績	平成22年実績	平成23年実績	平成23年当初計画	
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	団地内管理街灯数	灯	58	58	58	58
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	電気料	千円	1,822	1,787	1,886	1,908
		(算式)						
		指標						
		(算式)						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点	（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。				
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点	予算各細節において適正に予算執行されている。				
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移					計	点																																																																																																																																
	区分	単位	平成21年決算額	平成22年決算額	平成23年決算額	平成23年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額																																																																																																																														
	事業費	千円	4,136	2,706	2,557			低下している	1点																																																																																																																														
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない		0点																																																																																																																													
	地方債	千円				需用費	2,128,235	上昇している		-1点																																																																																																																													
	その他	千円				役務費	258,498	説明		H21・22に行った委託業務以外は、経常的な経費であり増減は少ない。																																																																																																																													
	一般財源	千円	4,136	2,706	2,557																																																																																																																																		
	(2)手法の効率化					計	2	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																														
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。						1	点	経常費を支払うだけなので、コスト縮減や対象範囲拡大などは当てはまらない。																																																																																																																														
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。						1	点																																																																																																																															
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。						1	点																																																																																																																															
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低		必要性+有効性		高																																																																																																																														
	A		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>点数</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要性</td> <td>3</td> <td rowspan="2">4</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>有効性</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>達成度</td> <td>1</td> <td rowspan="2">3</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>効果性</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>			項目	点数		1	必要性	3	4	2	有効性	1	3	達成度	1	3	4	効果性	2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>低</th> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8~</th> <th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>-2</td> </tr> </tbody> </table>		低	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高								A			6											5											4											3											2											1								B			0											-1											-2	高達成度+効果性
	項目	点数																																																																																																																																					
1	必要性	3	4																																																																																																																																				
2	有効性	1																																																																																																																																					
3	達成度	1	3																																																																																																																																				
4	効果性	2																																																																																																																																					
低	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																													
							A			6																																																																																																																													
										5																																																																																																																													
										4																																																																																																																													
										3																																																																																																																													
										2																																																																																																																													
										1																																																																																																																													
							B			0																																																																																																																													
										-1																																																																																																																													
										-2																																																																																																																													
担当課評価	A		上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA～Dによります。																																																																																																																																				
一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																																						
	現状のまま事業を継続					事業を拡充して継続																																																																																																																																	
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																																						
	事業の簡素化、効率化による改善					執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																																	
	事業手法の見直しによる改善					住民参加等の推進による改善																																																																																																																																	
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善					その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																																	
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																																						
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討					対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																																	
	必要性等を再検証し事業規模、計画等を見直しを検討					他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																																	
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討					その他																																																																																																																																	
D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																																							
廃止			統合			縮小			凍結		新たな事業への転換																																																																																																																												
事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨					廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難		その他																																																																																																																												
説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。					今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																																	
	町営住宅管理に必須な経常費(電気料や手数料)の支払いを遅延なく行うことができた。																																																																																																																																						
二次評価	庁内委員会評価		A		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																													
					D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小																																																																																																																												
	説明		現状維持により事業継続																																																																																																																																				
三次評価	三次評価		A		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																													
					D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小																																																																																																																												
	説明																																																																																																																																						